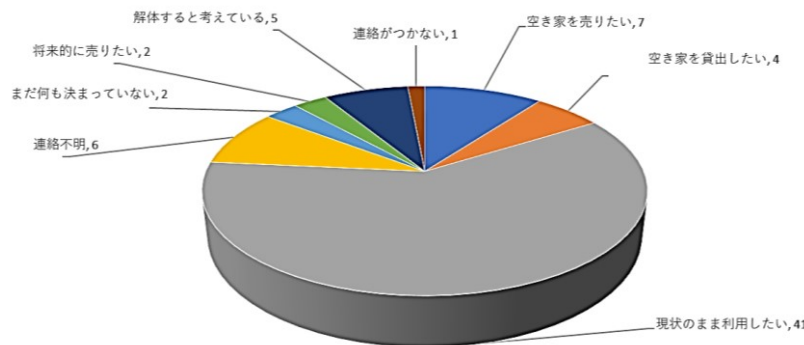




◇オーラック・メヘルナーズさん

すでに、2月ですが、皆様!新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。しかし、私は、2月末をもって退職させていただき事になりました。今まで沢山の方々に支えて頂き感謝致します。私は長野市にいられてとても幸せでした。この一年半はとても貴重な経験でした。この地域の方々に優しく接して頂き、美味しい野菜やりんごを頂いたりして感謝、感謝です。そして、多くの方々との出会いもありました。

イベント担当で着任させて頂きましたが、コロナの中で今年もイベントは、殆どが中止や延期で思った通り地域の力になれなくてとても落ち込みました。コロナで始まりコロナの中志半ばにして去ることに成りましたが、そんな中でも空き家対策活動は信里田舎暮らしを推進する会員の方々と信更町の中島忠徳さんが紹介して下さった不動産会社の信州田舎暮らしの方々のお陰で少し前進進して来れました。再調査の結果で信里の空き家の数が61件で在る事も確認できました。その分析したデータは以下のグラフ通りです。



所有者の意見はそれぞれ有ります。例えば住んでいなくても空き家ではないと考えている方がいらっしゃる事も分かりました。つまり、所有者によって空き家の定義にバラつきが有るのだと判明しました。空き家対策活動を円滑に進めて行くためには、各所有者の考え方やご意見をお聞きし受け入れることが大事だと感じました。

今のところ3つの物件—上有旅、青池、若林—は空き家バンクに登録済みで信州田舎暮らしのホームページに掲載されています。既に10数人以上の方々が見学に来られています。皆様も空き家を売りたい、貸し出したいと考えていらっしゃるならお気軽に信里田舎暮らしを推進する会や調査提言部会に、気楽にご相談ください。信州田舎暮らし株式会社---篠ノ井布施高田68-9 Tel:026-293-488-無料相談は可能です。

また、信州大学建築部と連携した事などは、成果の一部でした。去年の4月30日に信州大学の土本先生と打ち合わせして、5月21日に土本教授とゼミの生徒5名が信里を訪問して頂きました。中島法子さん、新井千寿さん、青木会長さん、町田区長会長さんと私は空き家2軒をご案内しました。そして、意見交換!しかし、残念ながらコロナの影響で学生達は信里に通えなくなってしまいました。またいつの日か土本先生グループの方々も信里地域とマッチング出来る事を祈っています。

去年の12月まで無農薬栽培研修のために週一回中条のまごころふれあい農園（園長：久保田清隆さん）そして松代の信州松代みやざき農園（園長：宮崎康介さん）に通わせて頂きました。そこで学んだ事をいつの日か生かそうと思っています。私は自分の無農薬で安全な野菜を作る夢を諦めていません。そして、少しでも環境の良い場所で、夢が叶うまでこの気持ちを持ち続けて行きます。いつの日か必ず実現してみせます。

去年の4月から毎週金曜日に信里小学校の5.6年生の生徒さん達の英語の授業に関わることが出来た事は、とても良かったです。可愛く明るい子供達に英語を教える機会を持てた事は、私にとって幸せでした。子供達の未知への旅の道しるべとして、これから英語に興味を持って学んでくれることを期待します。

最後に、大変お世話になりました。信里とのご縁を、これからも大事に私の心に刻んで大切にします。また、機会があれば信里に戻って参ります。その時には、気軽に!お声かけてください。どうぞ、皆様もご健康には気を付けてください。

□犬石地区にカフェがオープン!

1月21日に犬石地区にカフェ・洋菓子店「ロンディネッラ」がオープンしました。同店は東京都内を中心に洋菓子店などを運営する「メゾンビー」が手掛け、地区のリンゴを使ったアップルパイをはじめバスクチーズケーキ等の洋菓子や様々な料理が提供されます。インターネット販売用の製造工場も併設され、食器は犬石地区の陶芸作品が使われるなど、賑わいの拠点として期待されます。



篠ノ井有旅6408-1 営業時間：平日9:00-19:00 土日祝8:00-19:00 定休日：月・火

～信里地区 地域おこし協力隊活動報告～

◇木村智佳子さん

2020年9月の着任から、あっという間に17ヶ月が経とうとしています。一貫して取り組んできていることは農地の活用。有旅の耕作放棄地を再生させたくて日々活動しています。現時点で約40アール程の農地がきれいになりました。2021年の春には水稻と大豆（枝豆）の栽培を手掛け、さらにこの冬にはイタリアから取り寄せたヘーゼルナッツの苗木の植え付けを行いました。収穫まで3年、成木まで10年。無事に信里の地に根付いてくれると良いのですが。

ヘーゼルナッツ圃場



枝豆収穫



地域の人たちのおかげで、信里で愉しく生活することができています。協力隊としての任期は残すところあと半分。

2022年も、喜び、笑い、感謝できる年にします。今年もよろしくお願ひいたします。

□小山清茂記念展示室特別運営委員会

鳥取県日野郡江府町教育委員会教育長より信里地域委員会事務局長宛に一通の手紙が来る。

“奥大山江府学園開校にあたり設置準備委員会では新しい校歌を作るということも含めて話し合いを始めましたが、町民の皆さんの思いを踏まえ江府中学校の校歌を残す方向で検討を進めてきました。江府中学校校歌の作詞草野心平さんは小学校の教科書に作品が掲載されたこともあり日本を代表する詩人です。

作曲された小山清茂さんがとても著名な作曲家で神楽や祭囃子をモチーフに日本情緒に満ちた温かな作風で広く知られています。原曲をそのまま新しい校歌とする点、また新しい校歌の作曲者に小山さんのお名前を使わせていただくことについてご子息に了承を頂いています。”

◎コロナ禍であり小山清茂コンサートが開催できず後継者がいなくなる懸念があります。

□地域委員会より

新型コロナが猛威を振るっています。改めて感染対策の基本を守り注意しましょう。